



糸

きずな

図書館ボランティアだより

第22号

2015年6月 阪南市立図書館サポーター・ブックファン広報部会発行

目次

自由＊空間	「織田軍に抵抗した村人たち」「漫画スポ少・花の応援団」	-----	P 2
ご存知ですか	「パソコンなんでも相談受付けます」	-----	P 2
私のおすすめ	『傾聴ボランティアのすすめ』	-----	P 3
	『世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ』	-----	P 3
図書館からのお知らせ	-----		P 4

「点字サークル・虫」の紹介

点字は六個の点の組み合わせで、仮名はもちろん数字・アルファベット・記号・音符まで表わすことができます。

フランスのルイ・ブライユ（一八〇九〜一八五二）が暗号「夜の文字」にコントを得て、点を利用した文字を作りました。十九世紀半ばヨーロッパやアメリカでも受容され、日本では石川倉次（一八五九〜一九四四）が日本語五十音に翻訳しました。

日本点字制定から約二二〇年。視覚障がい者の情報保障として発展し、点字による投票の制度化では世界で日本が最初でした。近年、視覚障がい者の社会参加と共に点字が広く知られるようになり、パソコンによる点訳や多くの点訳ボランティアも増えました。

「点字サークル・虫」
は、市立西鳥取公民館のクラブとして活動しています。

阪南市の主催する初級点字講習会を終了した人の参加で現在二七名が活躍中です。もちろん、点字を利用する本人も参加しています。

サークルで製作した点字図書も一六〇冊になりました。

『永遠の〇』では、点字で全二巻の大作になりましたが、大好評でこの人も「一気に読み終えた」との感想でした。そのほか、点字月刊誌「ホットエッセンス」

の発行、行政の福祉・選挙などの情報、生活にかかるとごみ収集日程表、「コミュニケーション」の時刻表、保健センター行事、そして電車時刻表、料理レシピなど個人のリクエスト点訳を行っています。

また、市内小中学校で学ぶ点字の学習指導を行ったり、図書室には点字絵本を贈ったりしています。

点訳は、点字力の素晴らしさはもちろん、日本語の

素晴らしさにも気付かせてもらいながら、数カ月をかけて一冊の点字図書の完成を目指します。

本年二月、公益記念財団から「障がい者の支援を目的とするボランティア活動に対する助成」を受け、高額な点字プリンターを購入することができました。

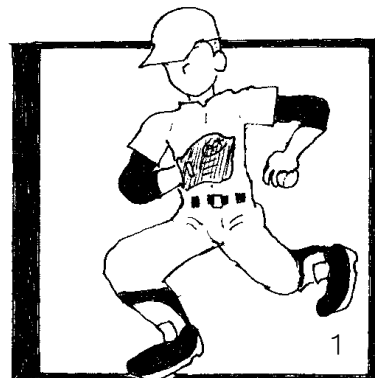
感謝して、今後も視覚障がい者の情報提供のサポートを続けていきたいと考えています。

「点字サークル・虫」



花のスポーツ応援団!

自由*空間



紀州の根来寺や雑賀族の勢力に恐れをもった信長は何度も紀州攻めを行いました。一五八二年石山合戦に敗れ紀州に逃れた顕如上人を追って、三男・信孝の軍勢が近づいた時、村人総出でかまどから持ち出した灰をまいて千騎

の織田軍の目潰しをし、小石を投げて抵抗しました。ちょうどその時京都では本能寺の変が起こり、織田軍は撤退し、顕如上人は命拾いをしました。それでこの地が「灰賦(はいぶ)の峠」と呼ばれるようになりました。もし信長がこの地に侵攻して

岩田 史子

《ご存知ですか》

パソコンなんでも相談受付いたします!!

パソコン関連で困っている方、悩んでおられる方、東鳥取公民館で毎月第2、第4木曜日午前10時から12時まで相談会を開いております。自分のパソコンを持ち込んでいただいてもOKです。又備え付けのパソコン(ウインドウズ7)にても相談可能です。インターネットをやりたい、ユーチューブを見

たい、マップを使いこなしたい、ストリートビューを体験したい、年賀状を作成したい、確定申告に使いたい、撮りためた写真整理、等々相談受け付けます。もちろん定番のワード、エクセルも大丈夫です。自治会の回覧資料、イベントのチラシ作成、家計簿の使いこなし等、是非お越しください。無料です。

東鳥取公民館 阪南パソコンクラブ Y. O

私が『傾聴ボランティアのすすめ』の本に出会ったのは、かれこれ七、八年前である。そして、この本にはたくさんなことを教えられた。

これまで「話し方ノウハウ」の本はあられるほどあったが、このような「人の話を聴く」ということを書いた本はなかったからである。人は人に話を聴いてもらうことにより、心の内を軽くするこ

って高齢者のお話を聴くことである。希望に燃えた若い人達と違って、人間、年を重ねていくと様々な喪失感に遭遇する。

定年になると、「収入の喪失」に直面、そして、会社での仲間や取引先関係の友を失う「友人の喪失」、また身近な人が次々と亡くなるという「人間関係の喪失」、加齢による病気等の「健康の喪失」などに遭遇する。また認

私のすすめ

とができる。これはカタルシ又効果というが、人にしか出来ない。傾聴とは、そのような人の話を聴けるためのノウハウなのである。

その後、阪南市でも「傾聴ボランティア養成講座」が開催され、傾聴ボランティアが

ループ「エクテ」が結成された。私もその会員になって活動することになった。主な活動は、介護施設や個人宅へ行

失」などに遭遇する。また認知症が入ってくれば、「また、同じことを言っ！」とか「もう、その話、聞き飽きたから！」とか言われ、家族との会話の中にも入れてもらえない場合もある「会話の喪失」。

そんなことが積み重なると、「もう、生きていてもしょうがない、早く死んでしまいたい、ポックリ寺へでもお参りしようかな」など、マイナ

又的な思考になりがちである。

そんな中、私たち「傾聴ボランティア」は、その方の一番輝いていた時代のお話を聴かせて頂き、「自分の人生、まんざらでもなかった」という思いになつて頂き、また元気を取り戻して頂く、というような活動を

これからの高齢者社会、このような活動がますます必要とされるのではないだろうか。阪南傾聴ボランティア

「テクノ」代表 吉竹 和之



『児童書』『世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ』

くさば よしみ / 編 中川 学 / 絵 汐文社 K519

ウルグアイのムヒカ大統領の心打つスピーチが意識され、子ども向けの表現で絵本になりました。国民から「ペペ」と呼ばれ慕われている人柄、また、大統領らしからぬ質素な生活ぶりは、スピーチに真実味を増し一層胸に響きます。

私たちの目の前の危機は、地球環境の危機ではなく、生き方の危機だと訴えています。

さらに命についても、「この惑星に幸せになろうと思って生まれてきた命」だと。これは、私たちが目指してきた幸せの中身を見直そうと教え

てくれます。

そして表紙には、「貧乏とは、少ししか持っていないことではなく、無限に欲があり、いくらあっても満足しないことです。」とあり、人類の幸福とは何か、深く問いかける絵本です。

☆ ムヒカ大統領は、日本で絵本になったことを喜び、スピーチを絵で的確に表現されたと評価しました。その絵は、京都の僧侶であり、イラストレーターとしても世界で活躍している中川 学さんによるものです。黒田 萬知子

図書館フレンズ活動報告

昨年度の集計ができました。配架に1431名、書庫入れ作業に405名、修理・装備・清拭に428名、館内装飾に32名、リサイクル関連に151名、広報関連に67名、生け花等環境整備に190名ものご参加をいただき、年間の延べ参加人数が2704名にもなりました。登録者は80名ですので、お1人平均33.8日来てくださったことになります。また、修理冊数が3358冊、清拭冊数が2786冊とたくさんの本が蘇り、701冊の本が図書館の資料に加えられました。今年から毎月月末に行っていた資料整理日が年間7回に減りましたが、新しく「生け花等環境整備」が作業に加わりました。図書館フレンズの皆様がボランティアで多岐にわたって図書館をサポートしてくださっているおかげで、阪南市立図書館は円滑に回っております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

新たにボランティアしてみようかな、という方はどうぞカウンターにお申し出ください。随時ご登録いただけます。

年度	登録者数	延べ人数
2003	20名	155名
2004	28名	682名
2005	33名	652名
2006	36名	1000名
2007	48名	1369名
2008	61名	1540名
2009	75名	2444名
2010	75名	2541名
2011	82名	2440名
2012	82名	2463名
2013	84名	2727名
2014	80名	2704名

2014年度活動日数集計表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
朝の配架	143	115	129	120	113	119	109	110	101	98	92	114	1363名
月末整理日	0	13	0	0	0	6	0	9	0	15	11	14	68名
配架人数計	143	128	129	120	113	125	109	119	101	113	103	128	1431名
書庫入れ作業	56	35	42	42	40	37	35	25	23	27	13	30	405名
修理・装備人数計	46	29	36	37	42	42	37	28	32	33	35	31	428名
館内装飾人数計	2	4	2	5	2	3	3	2	2	2	3	2	32名
リサイクル人数計	2	8	38	2	4	2	11	23	2	3	53	3	151名
広報人数計	0	7	14	0	0	6	8	0	0	7	9	16	67名
生け花等環境整備	16	14	18	18	16	14	18	16	14	16	12	18	190名
総計	265名	225名	279名	224名	217名	229名	221名	213名	174名	201名	228名	228名	2704名
修理冊数	461	193	322	301	520	403	215	180	221	218	139	185	3358冊
本の清拭冊数	153	111	111	264	52	70	196	324	307	145	475	578	2786冊
装備冊数	77	31	43	48	19	39	89	46	54	107	104	44	701冊

延べ2704名の方が図書館フレンズの活動に参加してくださいました

生誕100年記念

堀尾青史 ほりおせいし 紙芝居複製原画展

原作の世界観の再現に努めつつ、独自性を発揮した脚本力が光る！

平成27年8月21日(金)～25日(火)午前10時～午後5時(最終日は午後4時まで)

場所: サラダホール2階・展示室

講演「宮沢賢治と堀尾青史」

平成27年8月24日(月)午前10時半～正午

場所: サラダホール2階・視聴覚室 (先着30名)

講師: 京都学園大学教授 堀田 穰(ほったゆたか)氏

申込み: 8月4日(火)から図書館へ(電話可) 定員になりしだい締切。